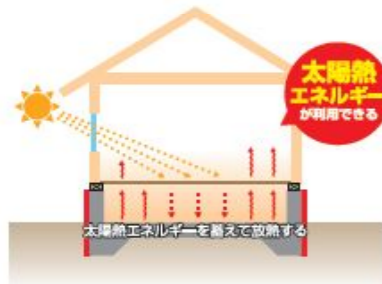


省エネ住宅&ロングライフ住宅を実現する 高性能ベタ基礎断熱システム 「タイトモールド工法」を是非一度ご覧になってください。

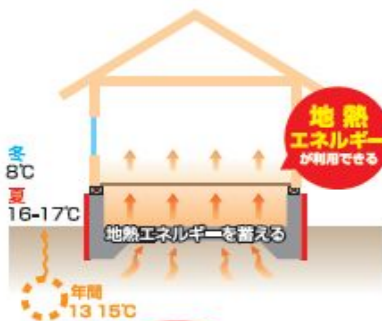
メリット1

燃費の良い家づくり!

高性能な基礎断熱は自然エネルギーの有効活用を実現!
省エネ住宅は基礎から!



- 冬の日差しは家の中まで入ってくる(冬は寒くても太陽熱エネルギーの熱量は大きい)
- 床に伝わった太陽熱エネルギーは床下のコンクリートに引っ張られて「蓄熱」される
- 蓄えられた熱は、夜間に「放熱」され床下から家の中が暖められる「ソーラー住宅」となる



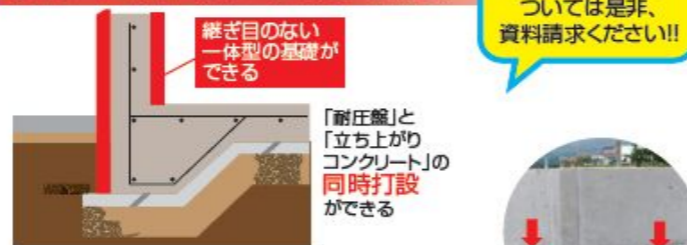
- 地熱エネルギーは地下2~3mほどの深さのところまで年間ほぼ13~15°Cと一定している
- 地表に出ると冬は8°Cくらい、夏は16~17°Cくらい
- 冬は暖かく夏は冷たく感じる
- 地熱エネルギーを利用すればそれほど冷暖房機に頼る必要はない

メリット2

耐久性UP! ロングライフ住宅

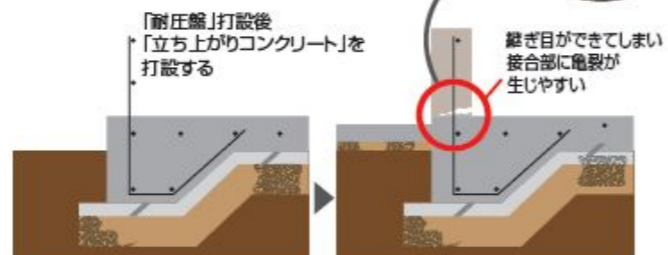
業界待望の一回打ち!
継ぎ目のないベタ基礎で耐震性も向上!

タイト・モールド工法のベタ基礎 (一回打ち)



まだまだメリットがあります。
より詳しい情報については是非、資料請求ください!!

一般のベタ基礎 (二回打ち)



キリトリ



第2部

燃費の良い家づくりを目指す工務店経営者のための 省エネ性能向上勉強会

主催:ハイアス&カンパニー株式会社、株式会社佐野組
後援:司コーポレーション株式会社

省エネ住宅を実現するための技術的な解説から、変化する住宅市場に如何に対応していくか、地域で活躍する住宅会社として如何に差別化を実現してお客様に支持される事業展開を図るかという戦略的な内容までご紹介する差別化実践セミナーです。

2013年 9月3日(火)

16:00~18:00(第1部終了次第開場)

会場:サンドーム福井 202号会議室

福井県越前市瓜生町5-1-1

Tel.0778-21-3106 Fax.0778-21-2122

【セミナー内容】

- ・住宅事業を行う上で絶対に抑えなければならない業界動向
- ・2020年の省エネ適合基準の義務化に備えるために
- ・住宅行政の背景を知る、更に、自社の経営理念、家づくりの信念を考える
- ・住宅の省エネ義務化のロードマップ
省エネ基準見直しの概要と地域工務店の経営課題を考える
- ・課題解決のためのご提案
~タイト・モールド工法によるパッシブデザインと空間創造~
- ・地域で突出した個性を発揮するための住宅商品戦略
- ・同業他社と差別化するための営業手法(初回商談からステップアップ面談)
- ・施工現場見学会のご案内、質疑応答など
- ・参加特典! 注文住宅の受注拡大のための販促支援ツール(DVD、プレゼンツール等)を無料進呈

定員: 20名様

対象: 経営者様・経営幹部様

参加費: 1社2名様まで無料

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、下記FAX番号までご返信ください

会社名			
所在地			
参加者名	御役職 ()	参加者名	御役職 ()
TEL	FAX	MAIL @	

FAX. 0770-64-1844

【セミナー事務局】
株式会社佐野組 担当:藤井 宛

主催・お問合せ先 ■ 株式会社佐野組 福井県三方上中郡若狭町三田27-27-1 TEL 0770-64-1752

共同主催 ■ ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 東京都港区白金台3-2-10白金ビル6階 後援 ■ 司コーポレーション株式会社 群馬県沼田市白沢町上古積父156

防蟻
10年保証

工期短縮

一体打ちの
基礎

ハイアス・アンド・カンパニー
コーポレーション

全国で反響相次ぐ基礎断熱工法「タイト・モールド」

TIGHT-MOLD

9月3日(火)に基礎断熱を活かした 「省エネ性能向上勉強会」開催! 詳細は裏面をぜひご覧ください!

導入工務店に聞く

工期短縮、差別化に成功

新築住宅における省エネ対策は、もはや地域密着型の住宅会社にとっても必須のテーマとなった。ハイアス・アンド・カンパニー(東京都港区、濱村)と「省エネ性能向上勉強会」を開催した。ハイアス・アンド・カンパニーが共同で全国展開する基礎断熱工法「タイト・モールド」が注目を浴びている。岩手県全域で注文住宅を手掛けるサトコンホーム(岩手県宮城郡南郷町)佐藤重幸社長は、3年前にタイト・モールドを導入。高気密・高断熱の躯体と、自社オリジナルの炭を使った躯体内通気システムと併せた差別化策が成功。受注件数増加、受注単価アップするなど、効果が顕著に現れた。佐藤社長は、タイト・モールド導入の効果について語った。

「他社との競合がなくなった」



サトコンホーム(岩手県滝沢村)
佐藤 重幸 社長

「タイト・モールド」導入のきっかけは、留まった。工期短縮、他社の差別化、提案力強化の観点から、導入を決めた。短期化を求めた。それから3年ほど経たない間に、経つが、導入理由に挙げた「他社との競合がなくなった」という効果を実感している。

「タイト・モールド」導入のきっかけは、留まった。工期短縮、他社の差別化、提案力強化の観点から、導入を決めた。短期化を求めた。それから3年ほど経たない間に、経つが、導入理由に挙げた「他社との競合がなくなった」という効果を実感している。

「タイト・モールド」導入のきっかけは、留まった。工期短縮、他社の差別化、提案力強化の観点から、導入を決めた。短期化を求めた。それから3年ほど経たない間に、経つが、導入理由に挙げた「他社との競合がなくなった」という効果を実感している。

建築現場での施工手順



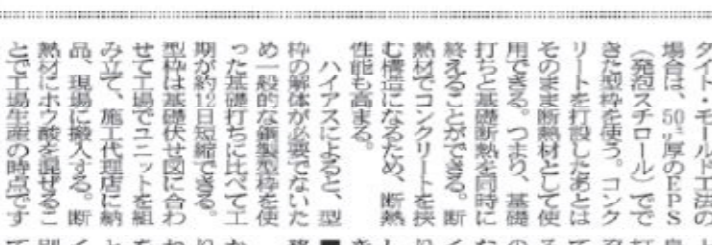
1 型枠を搬入
基礎スチロール性の型枠ユニットは極量で、高低差のある現場でも楽に運搬できる



2 型枠を設置
特別な技術は不要で、職人の技量に関係なく高精度の施工が可能である点もポイントのひとつだ



3 浮かし型枠の設置
施工方法は独自技術。工法の重要なポイントになる部分だ



4 組み立てが完了
床面積20坪程度で作業員が3人の場合、組み立てはおおむね半日で終了する。コンクリートの打設を同日に実施できる



5 コンクリートを打設
強度に優れた型枠を使うことで打設の精度もアップ。2度打ちしないため、コンクリートの継ぎ目もできない

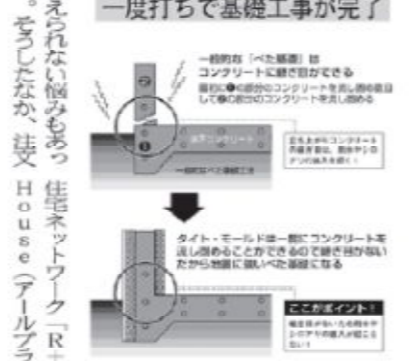


6 施工完了
型枠設置からコンクリートの打設まで、作業員が数人いれば2日で終わるため、圧倒的な工期短縮につながる

「タイト・モールド」とは?

一度の打設で基礎工事完了
防蟻と断熱処理も解決

「タイト・モールド」は、基礎断熱工法「タイト・モールド」だ。型枠そのものを断熱材として使う。一度に打設する。その結果、断熱材と型枠が一体化する。従来のコンクリートの継ぎ目、隙間からの結露、雨水やシロアリの侵入も防ぐ。防蟻と断熱処理も解決。



「タイト・モールド」は、基礎断熱工法「タイト・モールド」だ。型枠そのものを断熱材として使う。一度に打設する。その結果、断熱材と型枠が一体化する。従来のコンクリートの継ぎ目、隙間からの結露、雨水やシロアリの侵入も防ぐ。防蟻と断熱処理も解決。



盛岡市内にあるサトコンホームのモデルハウス。輻射式冷暖房一台で家全体が涼しい。

明日から実践できる 住宅受注 **倍** 増セミナー

新技術!「HySPEED工法」で造る パーフェクトパイル(砕石パイル)で住宅地盤が蘇る。

HySPEED工法は、天然の砕石で地盤に砕石パイルを造ることによって、
軟弱地盤を強い地盤に変え建物をしっかり支え、地震時の液状化から地盤を守ります。

perfect 1
自ら支持層を形成する画期的な工法で、
地層の起状に影響されません。

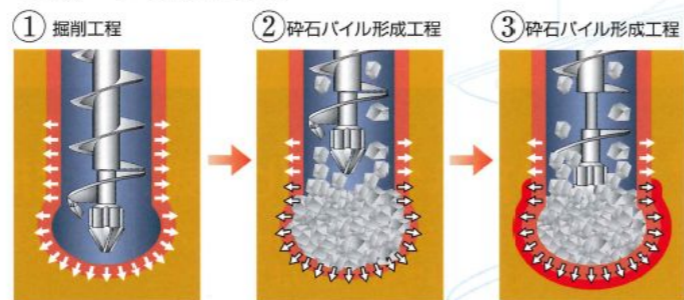
HySPEED工法は、必ずしも強固な支持層を必要としない工法です。
軟弱な地盤を、砕石パイルと圧密により強固な地盤へと蘇らせて行く
画期的な自然工法です。オプションの「あんしん埋炭」を併用す
れば、お家まるごとイオンの住まいに大変身。健康的な住環境を実
現します。



完成予想図
オプション
「あんしん埋炭」を併用すると、
地盤が元気になる。

perfect 2
ピストンバルブのスピーディーで正確な施工で、
強固な地盤と工事時間の短縮を一挙に解決。

①HySPEEDドリル(直径400mm)により地盤を掘削し、②天然砕
石(直径20~40mm)を投入します。③砕石厚30cm程度毎にハン
マー転圧(ピストンバルブ)をして、十分締め固めをしながら地表ま
で砕石パイルを構築します。



締め固めの効果は、直径400mmで掘削したものに直径450mm分
の砕石を使用し、掘削壁にその砕石をくい込ませ、周辺地盤も圧
密を促進します。

施工後に平板荷重試験 杭頭1箇所(設計過重の3倍)で測定をします。
仕上がりの強度が明確に判明するので安心です。

perfect 3
地盤改良のあらゆる問題を解決!その付加価値はまさにパーフェクトパイル。

- 1 地震時の衝撃に強い**
砕石パイルと現地盤で複合的に面全体で建物を支える
ので、安定した強さがある。
- 2 環境貢献工法**
天然の砕石しか使わないので、土壌汚染や環境破壊に
よる周辺地域への悪影響を起しません。つまり住む人
の健康被害を起しません。
- 3 産廃費用が発生しない**
産業廃棄物(コンクリート、鉄パイプ)として扱われないの
で、将来取り除く必要がありません。
- 4 リユースで地球に貢献**
将来家の建て替えをするときも、同程度の家であれば繰
り返し使えます。
- 5 液状化対策工法**
地震時の液状化をドレーン効果(排水効果)により抑制します。
- 6 パーフェクトな工事保証**
日本大手保証会社の保証が付いています。
- 7 CO₂を5,000Kg削減**
砕石しか使わないことにより他の工法に比べCO₂の排出
を少なくします。
●平均的な住宅(建坪20坪程度)1戸分の施工で5,000Kg削減。
- 8 無公害工法**
今まで施工が出来なかった地下水の多い地盤やセメン
トの固まらない腐植土の地盤、六価クロムが出る火山灰
の地盤でも、問題なく施工が出来ます。
- 9 遺跡になる工法**
セメントや鉄パイプのように劣化したり、錆びたりしない、
永久地盤工法です。

新技術ピストンバルブ

HySPEED
天然砕石パイル工法
〒791-8016 愛媛県松山市久万ノ台921-1
TEL.089-989-0093 FAX.089-989-0063
GBRC 性能証明 第09-20号 改
国土交通省NETIS登録 SK-070007
HySPEED工法本部
地盤しめかため隊
〒797-0222 http://www.hyspeed.co.jp

●ご用命は「HySPEED工法」代理店
〒919-1513 福井県三方上中郡若狭町三田27-27-1
(株)佐野組 tel:0770-64-152 fax:0770-64-1844
e-mail:hyspeed@sanogumi.net

『顧客心理』を大分解! お客様に選ばれる営業マンが 行っている共通の営業手法とは?

- > 初回接触でお客様から信頼を獲得する方法とは?
- > 自社アピールをせずに他社との差別化を図る営業手法とは?
- > 他社を見ているお客様が、最後に自社に戻ってくる
ための仕掛けとは?

※知っている知らないとは大違い!
明日から使える営業の秘訣をお伝え致します。
※今注目の住宅の『地盤』『液状化対策』についての
差別化トーク&ツールも大公開!



成功企業が実践しているツール(チラシ・HP)をその場で解説&プレゼント!



日時
2013年 9月3日(火)
13:30~15:30(13:00開場)

会場
サンドーム福井 202号会議室
福井県越前市瓜生町5-1-1
Tel.0778-21-3106 Fax.0778-21-2122

参加申込は FAXにて! FAX. 0770-64-1844

MAIL

御社名: _____ @ _____

ご住所: _____

参加者名: _____ (お役職: _____)

参加者名: _____ (お役職: _____)

TEL: (_____) _____

FAX: (_____) _____



主催: ハイアス&カンパニー株式会社 | 〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル6F
TEL:03-5308-0281 FAX:03-5423-5677
共催: 株式会社佐野組 | 〒919-1513 福井県三方上中郡若狭町三田27-27-1
TEL:0770-64-1752 FAX:0770-64-1844

天然砕石のみ使用のHySEED工法(エコ地盤改良)

HySPEED工法が



「大改造! 劇的ビフォーアフター」で採用されました!

2011年7月

「重さに耐えきれない家」をテーマで、香川県さぬき市の店舗兼住宅が放送されました。建物の増改築の他に擁壁の内側を掘り起こした地面から出てきたのは大量の瓦礫と水...この問題に立ち向かったのは、番組で「内と外の媒酌人」と呼ばれる「匠」、清水設計一級建築士事務所代表の清水康弘さんです。



支える擁壁に13mの亀裂が...



擁壁の中は瓦礫混じりの土さらに地中から水が湧き出ていました。



早速砕石を投入、地中に砕石パイルを施工します。



「やっと安心できるものが出来たと高評価を頂きました。」

テレビ東京「ガイアの夜明け」にHySPEED工法が取り上げられました!



2011年11月

東日本大震災以降、住宅を選ぶ基準が利便性や住環境から安心・安全重視に変わってきています。番組では、「安心・安全な地盤を求めると、それに答えようとする企業の今」ということで、弊社が取り組んでいる地盤改良「HySPEED工法」にスポットを当ていただきました。また、当工法の施工代理店様の挑戦も取材され放送されました。



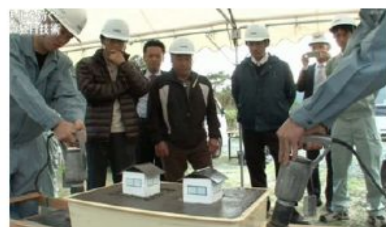
震災現場調査と視察の様子



レーザー水平器で砕石パイルを施した住宅の水平を調査



住宅の傾きもなく、ほとんど沈んでいないことが実証されました。



浦安の噴砂を使った液状化実験と説明の様子



代理店様の現場の様子オリジナルの施工説明看板も作りがばっています。



「安心・安全な住まいを求める声はますます高まっていくでしょう。住宅に関わる全ての企業の知恵と努力に期待したいと思います。」

日本テレビ 朝の情報番組「ZIP!」に「HySPEED工法」が紹介されました。



2012年3月

「東日本大震災からまもなく1年、住まい選びにどのような変化があったか」をテーマに、番組内で地盤強化の方法として、HySPEED工法の施工現場が紹介されました。



約2万7000棟の被害



埼玉・坂戸市



砕石を流し込み押し固める



「SBSイブニングeye」の「防災最前線」コーナーで液状化対策としてHySPEED工法が紹介されました。



2012年8月

防災最前線ということで液状化に備える工法としてハイスピード工法施行代理店様が取材を受けました。



「液状化」に備える



6:47



6:46



6:47